

平成 26 年度 伊都国歴史博物館
開館 10 周年記念特別展の開催について(ご案内)

1. 主 題 「^{K U N A K O K U}狗奴国浪漫 ～熊本・阿蘇の弥生文化～」
2. 主 催 糸島市 糸島市教育委員会
3. 会 場 糸島市立伊都国歴史博物館 1 階企画展示室他
4. 会 期 平成 26 年 10 月 7 日(火)～11 月 24 日(月)
5. 開催趣旨 博物館の開館 10 周年を記念して、邪馬台国論争において卑弥呼の仇敵だったとされる狗奴国の候補地、熊本・阿蘇地方の弥生文化をとりあげ、熊本県を中心に 100 点余り(国指定重要文化財 2 件 14 点、熊本県指定重要文化財 3 点を含む)の資料を借りて展示する。
北部九州にはみられない特殊な土器や土偶、北部九州とは異なる青銅器の品々を展示し、狗奴国=熊本県地方説を検証する。
6. 展示構成
 - 第 1 章 弥生の黎明(縄文時代後期～弥生時代前期)
 - 第 2 章 大陸からの新しい文化の風(弥生中期)
 - 第 3 章 ムラの成長 ～拠点集落の出現～(弥生後期)
 - 第 4 章 古墳時代の幕開け(古墳時代)
7. 観 覧 料 大人 300 円(20 名以上の団体は 200 円)
小中高校生 200 円(20 名維持用の団体は 150 円)
8. 展示等協力機関
宇土市教育委員会 九州歴史資料館 熊本県教育委員会 熊本県文化財資料室
熊本市教育委員会 熊本県立御船高等学校 熊本市立熊本博物館 熊本城頭彰会
玉名市教育委員会 熊本市立塚原歴史民俗資料館 鳥栖市教育委員会
八代市教育委員会 山鹿市教育委員会 山鹿市立歴史博物館
9. 関連事業
 - (1) 特別講演会①
期 日 11 月 1 日(土) 午後 2 時～3 時 30 分
演 題 「火の国の弥生文化～熊本・阿蘇の弥生時代遺跡発掘最前線～」
講 師 宮崎敬士氏(熊本県教育委員会)
内 容 熊本県内における近年の弥生時代遺跡の発掘調査の成果についての解説。
 - (2) 特別講演会②
期 日 11 月 15 日(土) 午後 2 時～3 時 30 分
演 題 「狗奴国の考古学」(仮題)
講 師 佐古和枝氏(関西外国語大学教授)
内 容 狗奴国=熊本県地方説からみた熊本県地方の弥生文化

10. 注目の資料

1). 熊本市宮地遺跡群出土の台付舟形土器

◎点数 1点

◎指定の有無 国指定重要文化財

◎法量 高さ 20.3^{センチ}

◎特徴 舟をかたどった器に脚台がつけられた特殊な弥生時代の土器で、国内唯一の資料。表面には一面に龍を表す模様が描かれ、祭りや儀式の際に用いられた酒器と考えられている。

脚部に土器を振ると土鈴のような音が鳴る仕掛けもある。

2). 益城町の容器形土偶

◎点数 1点

◎指定の有無 未指定

◎法量 高さ 237.3^{センチ}

◎特徴 昭和 2 年に開墾作業中に偶然発見された土製品で、背中の口から体内に物を収納することができるため容器形土偶と呼ばれていて、腹部が丸く膨らんでいることから女性像と推定される。

弥生時代の土偶は珍しく、また、顔や体に入墨が施されており、弥生時代の女性の服飾史を研究するうえで貴重な資料である。

熊本県立御船高校が所蔵する資料で、福岡県では初公開となる。

3). 山鹿市の国史跡、方保田東原(かとうだひがしばる)遺跡の台付家形土器

◎点数 1点

◎指定の有無 熊本県指定重要文化財(平成 20 年 6 月 23 日指定)

◎法量 高さ 17.4^{センチ}

◎特徴 昭和 44(1969)年の発掘調査で出土した、九州で最も残りの良い弥生時代の建物の資料である。

建物の四面の壁が残っている。

壁には、門(かんぬき)穴を掘った扉が細い線で描かれているなど、当時の建物の構造を知る貴重な資料として注目されている。

4). 宇土市の国史跡、向野田(むこうのだ)古墳出土品(国指定重要文化財)

◎点数 13点

◎指定の有無 国指定重要文化財

◎法量 別紙図版のとおり

◎特徴 向野田古墳は 1967(昭和 42)年に発掘調査が行われた、全長 86^{メートル}を測る 4 世紀の前方後円墳で、熊本県下有数の規模を誇る。

古墳の最大の特徴は、全国でも極めて珍しい未盗掘状態で発見された女性首長の墓であったこと。古墳時代に女性の王が君臨していたことを示す貴重な資料である。出土した三面の銅鏡をはじめ、玉やガラスの装身具、碧玉の腕輪、鉄製の武器など 13 点を展示する。



1. 台付舟形土器(だいつきふながたどき)
(高さ 20.3 ㇿ 国指定重要文化財)



2. 容器形土偶(ようきがたどぐう)
(高さ 23.3 ㇿ)



3. 台付家形土器(だいつきいえがたどき)
(高さ 17.4 ㇿ 熊本県指定重要文化財)

4. 史跡向野田古墳出土品



方格規矩鏡(ほうかくきくきょう)
(直径 18.4 ㍉ 国指定重要文化財)



内行花文鏡(ないこうかもんきょう)
(直径 17.1 ㍉ 国指定重要文化財)
鏡の金属光沢が残る優品として知られる。



車輪石(しゃりんせき)
(直径 17.1 ㍉ 国指定重要文化財)

参考資料 向野田古墳発掘当時の写真

